



会より さくら会 だより

*さくら会のマーク

重なりあう花びらは、人と人が互いに尊重し、理解を深め合う利用者とさくら会とのより良い関係づくりを象徴しています。

第65号 2023年10月発行 社会福祉法人 さくら会

〒140-0013 品川区南大井5-19-1
☎(03)5753-3900(代)・FAX(03)5753-3955
ホームページ: <http://shinagawa-sakurakai.or.jp>

キャンドルナイト

品川区立月見橋在宅サービスセンター

月見橋在宅サービスセンターでは地域活動の一環として様々な行事を開催し、地域住民の方々との交流を図っています。今回は7月22日(土)に開催した「月見橋キャンドルナイト」を紹介します。

いつもお世話になっております「八潮ハーモニーメイツ」「南大井保育園」の皆様にも今回もご協力をいただきました。更に「品川介護福祉専門学校」の学生さん達にもお手伝いに来ていただきました。

催し物として、「キャンドル作り」をはじめ、八潮ハーモニーの皆さんによる「手作り品販売」や、自由な発想で創作を楽しめるワークショップ「着物リメイクファッションショー」を行いました。



また、立ち寄ってくれた子供達には風船と「くるみちゃん」グッズをプレゼントして喜んでいただきました。

ファッションショーでは着物をリメイクした衣装をご利用者と一緒に選んで着ていただきました。女性ご利用者は「どう?きれいかしら?」と素敵な笑顔、男性ご利用者は「なんか、恥ずかしいなあ」と照れながらもご満悦な表情をされていたのが印象的でした。

記念撮影後は、バイオリン演奏と共にストリートランウェイを八潮ハーモニーのモデルさんと一緒に歩かれました。近所の子供達も一緒にモデル体験、ランウェイを歩きました。夏休みのいい思い出になったら私達も嬉しいです。

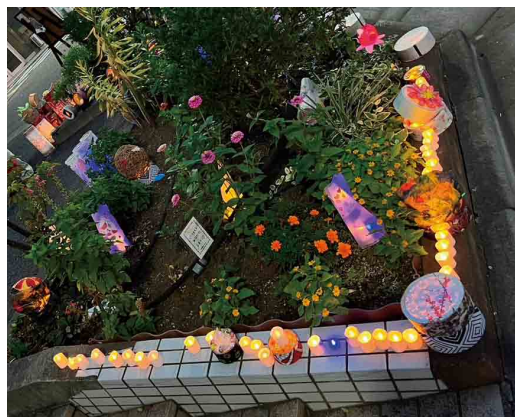
「キャンドル作り」では参加者



が好きな折り紙やシールを選んで飾り付けるなど、皆さん真剣に取り組まれていました。作品が完成すると喜びもひとしお、達成感を味わっていただけました。

真夏の太陽が沈み始めた頃、手作りキャンドルを点灯。幻想的な灯りが織りなす空間に、通りすがりの方も「きれいな」と足を止められたり、立ち寄られる姿が多く見られました。キャンドルを作成した保育園のお子さんは親御さんと一緒に自分が作った作品を探す場面も見受けられました。

多くの方々に助けられ、今年も無事に開催することができました。これからも人との繋がり、輪が広がる行事を企画し開催していきたいと考えております。是非、月見橋に遊びに来てください。



ケアラー懇談会

品川区立大井林町地域密着型多機能ホーム（大井林町倶楽部）

7月22日（土）に大井林町倶楽部にて第1回ケアラー懇談会を開催しました。

品川区では在宅介護者研修・支援事業として、在宅で高齢者や障害者等の介護、看病、世話が必要な方をケアしているケアラーを対象とした「ケアラー懇談会」を今年度より実施することになりました。

当日は11名の方が参加され、3グループに分かれて「ケアのことをなんでも話し合いました」というテーマのもと話し合っていました。



自己紹介のあとは皆さん初対面とは思えないほど積極的に意見を交わされていました。

開催後のアンケートでは「他の方の話が聞けて学びになった。交流するだけで元気がもたれる」「他の方々の経験を伺って自分だけではないと思い、頑張ろうと思えた」「コロナ禍で交流する場が無く、孤立していた。相談できる場所が必要だと思った」等のご意見をいただきました。ケアラー懇談会は今後も定期的に開催します。ひとりでも多くの方にご参加いただけるよう、開催日時やテーマなど検討していきたいと思えます。大井林町倶楽部を利用してない方もご参加いただけます。日頃のケアの悩みや気になっていることを、みんなで話してみませんか。次回は10月25日（水）14時から開催します。皆様のご参加をお待ちしております。



「スマイルカフェさくら」再開！

南大井在宅介護支援センター
品川区立月見橋在宅サービスセンター

9月3日（日）12時半～14時半 さくら会談話コーナーにて、認知症カフェ「スマイルカフェさくら」が、約2年半ぶりに開店いたしました！

この「スマイルカフェさくら」は認知症の家族介護について、似たような悩みや不安、向上心をお持ちの方々が集い、認知症予防方法など、おしゃべりをするカフェです。

当日は、22名もご来店をいただき、和やかな雰囲気でおしゃべりに花が咲きました。



ご来店の方々からは、「介護の生の声が聴けるって大切だと思う」「他の方の話を聞くことで、自分の事に気付きました」「介護の課題を洗い出せ、改善のヒントをたくさん得られました」「元気な方に会えて嬉しい」「楽しかった」などの嬉しい感想をいただきました。

今後も感染対策に留意しつつ、以前のように、5月、8月、11月、2月の年4回の開催を計画しています。

認知症情報冊子等をご用意し、皆さまのご来店を心よりお待ちしております！

参加費お一人100円（お菓子・飲み物付）



夏祭り

南大井在宅サービスセンター

南大井在宅サービスセンターでは、暑い日が続く8月中旬に、ご利用者の皆様に夏らしい雰囲気味わっていただくとうと夏祭りを企画、開催しました。

金魚のイラストをラミネートしたものを団扇ですくう金魚すくい、昔懐かしい割り箸で作ったゴム鉄砲で夏らしいイラストが書かれた箱を倒す射的。また新型コロナウイルスの影響により提供できなかったかき氷を今回、3年振りにご用意する事ができました。

昔懐かしいかき氷機を使って、少し粗目に削った氷にイチゴやメロンのシロップをかけて召し上がっていただきました。暑い夏のひとつきの涼に「冷たくて美味しい」という声をたくさんいただきました。



中には「昔の赤城しぐれみたいで懐かしい」と笑顔で話される方もいらっしゃり、利用者同士、会話も弾みました。

今年の夏祭りは、ご利用者の皆様の笑顔にスタッフ一回元気をもらいました。これからもご利用者の皆様が笑顔で過ごせる時間を大切にしていきたいと思えます。

園芸活動 ジャガイモの収穫

ケアセンター南大井

ケアセンター南大井2階では、毎月第2土曜日、4階多目的室及び庭園にて、園芸活動を行っています。今回は3月に植えたジャガイモを収穫しました。

収穫前には、自分たちが植えた栽培袋の前に、育ったジャガイモの大きさや個数を予想し、ホワイトボードに書き出して競い合いました。「あなたより私の方が大きいかも」「数が多い方が勝ちだよ」などと大いに盛り上がっていました。

また、収穫後には、茹でたてのジャガイモを試食。「ホクホクして美味しかった」「育てた物をことうやって食べられるなんてほんとに幸せだ」と、とても嬉しそうに召し上がっていました。



6月に田植えた稲が成長しました♥



その後、6月に植えた稲が大きく伸び育っているのを皆で見学。「10月の稲刈りが楽しみだね」と口々に話しており、それを聞いた私たちも嬉しくなりました。

今後ともに笑顔で楽しみながら活動ができるよう、私たちも工夫を重ねていきたいと思えます。

10月10日は転倒予防の日

高齢者にとって転倒・転落は骨折や頭部外傷等の大げがつながりやすく、それが原因で介護が必要な状態になることもあります。

高齢者の転倒事故の多くは住み慣れた自宅で発生しており、具体的な場所としては居間・寝室・玄関・階段・廊下・浴室が挙げられます。身近な場所に転倒リスクがあると意識しましょう。

自宅内に危険な場所はないか改めて見直し、万が一、転倒しても大げがに至らない工夫をすることも大切です。

【転倒の主な原因】

- ① 加齢による身体機能の低下・注意力の低下
- ② 病気や薬の影響
- ③ 運動不足
- ④ 生活環境

【高齢者の転倒を予防・防止するには?】

- ① 骨を丈夫に保てるような食生活を心がける
- ② 下半身の筋力を落とさないよう、膝やかかとを上げる運動を行う
- ③ 転倒リスクを軽減できるように段差をなくしたり、滑りやすい物を床の上に放置しない等、生活環境を整える
- ④ 外出時に転倒しないような靴や杖を利用する



第19回さくら会まつりのご案内

日時 令和5年11月5日(日)

午前10時～午後1時

場所 社会福祉法人さくら会

南大井高齢者保健福祉複合施設

品川区南大井5-19-1

内容 模擬店・ゲームコーナー・園芸販売・園芸体験

コーナー・パン・お菓子・手作り雑貨・工芸品販売・作品展示他

(内容は都合により変更になる場合がございます)

後援 社会福祉法人 品川区社会福祉協議会

協力 大井第一町会連合会

大井第一地区支え愛活動会議

大井第一地域センター

社会福祉法人 品川総合福祉センター

社会福祉法人 福栄会



ここ数年は新型コロナウイルス感染症拡大により中止を余儀なくされてきましたが、今年は4年ぶりに規模を縮小して開催いたします。恒例のステージ披露やバザー等は残念ながら行いませんが、町会および区内法人をはじめとする地域の皆様のご協力をいただきまして、企画を色々と準備しております。

どうぞ、お誘い合わせの上、お越しください。

景品を多数ご用意して、職員一同お待ちしております。

※感染症予防対策として、館内での飲食は禁止とさせていただきます。

※駐車場がございませんので、公共の交通機関をご利用下さい。

連載NO.24

……専門職に聞く……

南大井訪問看護ステーション

看護師 焼野 ノリ子

Q1…仕事の内容

主治医が作成する訪問看護指示書に基づきご自宅に訪問し、健康状態のチェックや療養指導、服薬管理、入浴介助、医療処置などを行います。

Q2…専門職として心掛けていること

利用者様とご家族の思いを知ることが大切に行っています。



またご自宅での療養生活では多くの職種が関わっているので、密な報告・連絡・相談を心掛けています。

ています。

Q3…ご利用者、読者に向けてメッセージ

訪問看護により、少しでも前向きな気持ちになっただけなら嬉しいです。体調面だけでなくいろいろなお話ができることを楽しみに訪問しています。

次回1月号は「介護支援専門員」
杉山 美紀さんの登場です！

さくら会だよりの感想をお聞かせ下さい。

〒140-0013 品川区南大井5-19-1

社会福祉法人さくら会 編集委員会 宛

次回の発行予定は、令和6年1月です。